

## ■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。受信部の見える位置からリモコンを操作してください。

## ■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

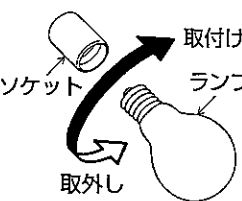
- △警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。
- △注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

### 1 電源を切ってください

### 2 古くなったランプを取外してください

### 3 新しいランプを取付けてください

ランプの取付けは丁寧に、確実に  
行なってください。  
破損・落下の原因になります。



### 4 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

## ■グローブの取外し方 △注意 グローブの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

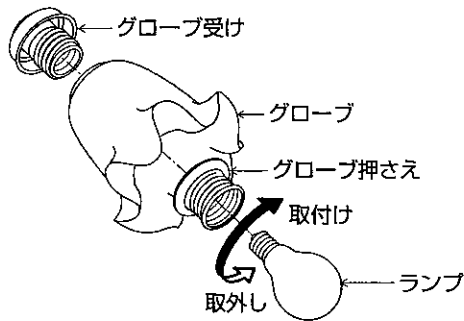
### 1 電源を切ってください

### 2 ランプ・グローブを取外してください

ランプを取外し、グローブを支えながらグローブ押  
さえをゆるめて取外してください。

### 3 グローブ・ランプを取付けてください

グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押  
さえで締め付けてください。  
ランプを取付けてください。



## ■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

## コイズミ照明器具 保証書

### < 保証について >

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。
3. ランプ・グローブ・点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  - (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
  - (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  - (5)施工上の不備に起因する故障や不具合
  - (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
  - (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

### < アフターサービスについて >

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎていたときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありませんので、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)		お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体: 1年間 安定器: 3年間			
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話	( )	

コイズミ照明株式会社

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 BAE3602FR

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

## 【安全上のご注意】

<div> <div>警告</div> <div>この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。</div> </div>	
<div> <div>！</div> <div>厳守</div> </div>	<div> <div>器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。</div> </div>
<div> <div>禁止</div> </div>	<div> <div>このような場所には取付けしないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。</div> <div> </div> </div>
<div> <div>分解禁止</div> </div>	<div> <div>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。</div> </div>
<div> <div>禁止</div> </div>	<div> <div>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。</div> </div>
<div> <div>禁止</div> </div>	<div> <div>器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。</div> </div>
<div> <div>！</div> <div>厳守</div> </div>	<div> <div>埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものを ご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。</div> <div> <div>下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。</div> <div> </div> <div> <div>ケースウエイはめ込み配線器具</div> <div> </div> <div> <div>●破損している</div> <div> </div> <div> <div>●電源端子露出形</div> <div> </div> </div> <div> <div>ヒビ割れ 欠けている</div> <div> </div> <div> <div>グラツキやガタツキ</div> <div> </div> </div> <div> <div>電源端子</div> <div> </div> </div> </div> </div></div></div></div>
<div> <div>！</div> <div>厳守</div> </div>	<div> <div>異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。</div> </div>

## △ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

<div> <div>水ぬれ禁止</div> </div>	<div> <div>この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。</div> </div>	<div> <div>禁止</div> </div>	<div> <div>器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。</div> <div> </div> </div>
<div> <div>禁止</div> </div>	<div> <div>周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</div> </div>	<div> <div>！</div> <div>厳守</div> </div>	<div> <div>表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</div> </div>

取説No. E702-005KL/S-T

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力		重量	使用ランプ
			扇風機	照明		
BAE3602FR	AC100V	50/60Hz共用	24W/33W (強)	360W	7.8kg	普通球 60W(E26)×6

※リモコン送信機で消灯・回転停止した場合、約2Wの電力を消費します。  
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■扇風機仕様(回転方向: 下向き)

電圧(V)	周波数(Hz)	回転数(rpm)		風速(m/min)	風量(m³/min)	消費電力(W)
AC100V	50	強	134	81	41	24
		中	88	49	30	12
		弱	45	21	12	5
	60	強	144	90	49	33
		中	90	53	30	14
		弱	46	22	14	6

※電圧特性、羽根の重量および室温の変化により回転数は±15%の範囲で、誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。(回転数は室温25度にて測定)

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

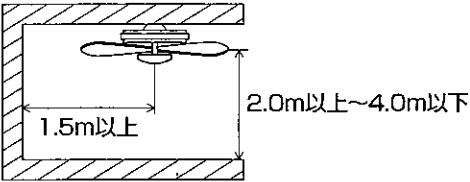
1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。



2 設置場所を確認する

- 羽根が回転するとき、人・家具・壁その他インテリアに当たらないように取付ける。
- 雨や水しぶきのかかる場所、直射日光の当たる場所には取付けない。
- ホコリの多い場所、酸・アルカリ・油を使う場所には取付けない。



3 取付面がクロス貼りの場合

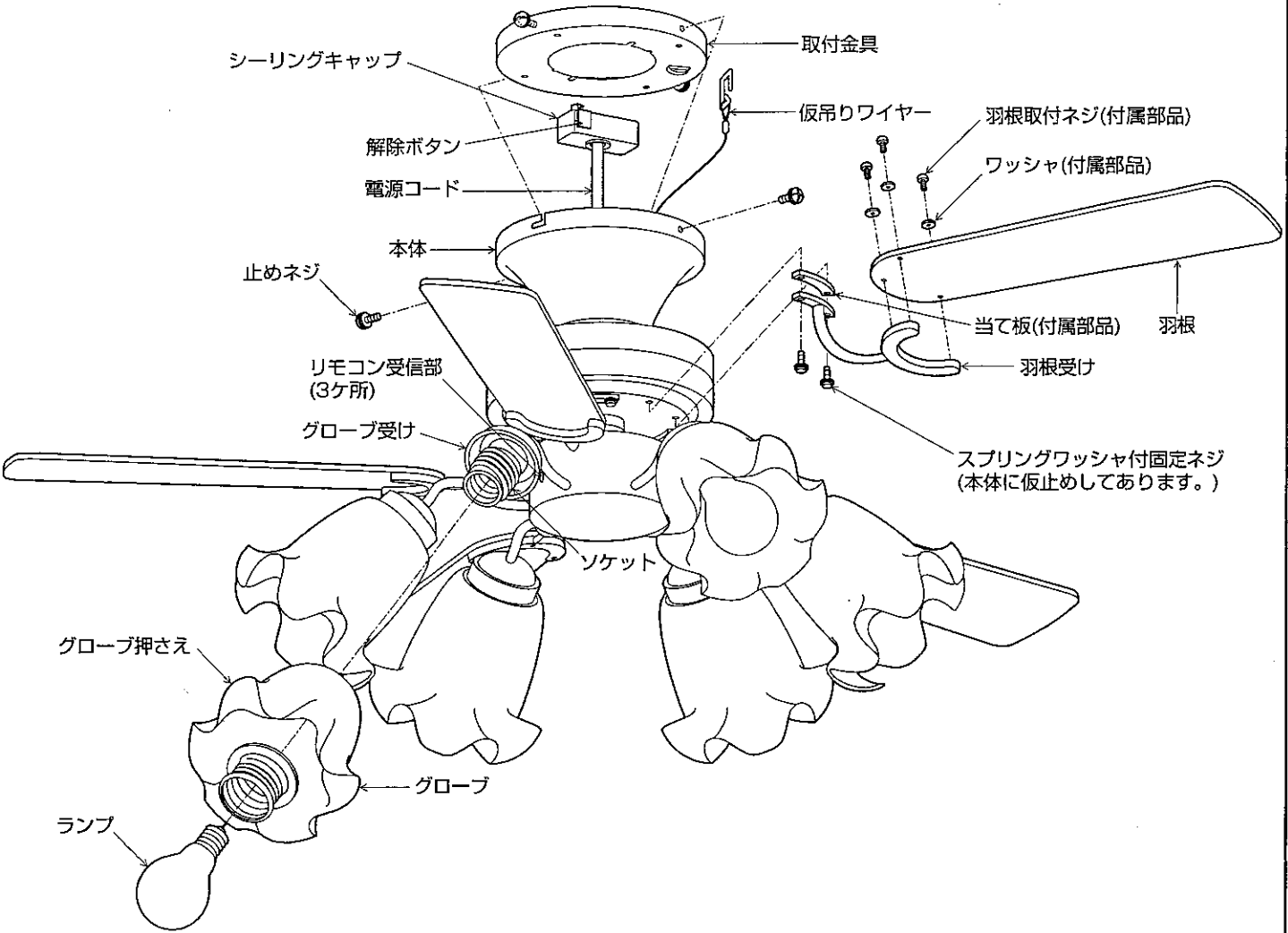
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。  
変色やサビの原因になります。

4 必ず同梱の部品を使用する

羽根は同じ重量のものをセットしていますが、羽根・灯具のバランスなどにより本体が多少揺れることがあります。

■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

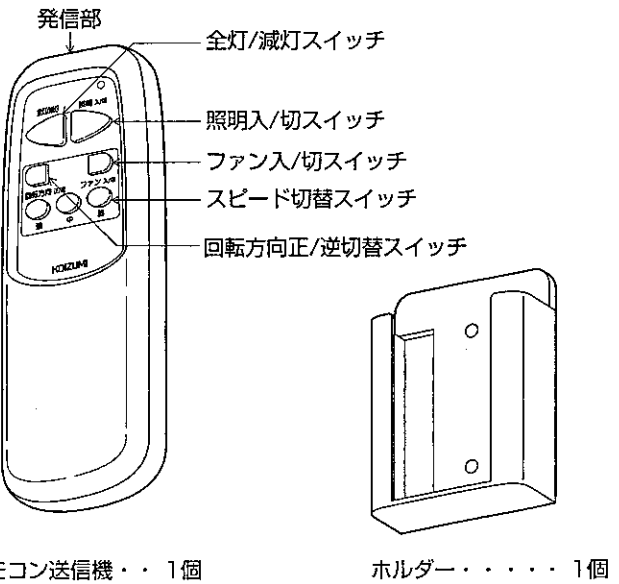
※この図は一部抽象化した共通部品図です。  
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉

- 取付ネジ  
φ4.1×45mm・・・4本
- 取付ネジ  
M3.5×12mm  
(平ワッシャ・スプリングワッシャ付) 2本
- 羽根取付ネジ・・・15本(予備1本)
- ワッシャ・・・15枚(予備1枚)
- 当て板・・・5枚
- スプリングワッシャ付  
固定ネジ(予備)・・・1本

〈リモコン送信機一式〉



- リモコン送信機・・・1個
- ホルダー・・・1個
- 取付用木ネジ  
φ3×16mm・・・2本
- 単3形電池・・・2本

## 1 取付金具を取付ける

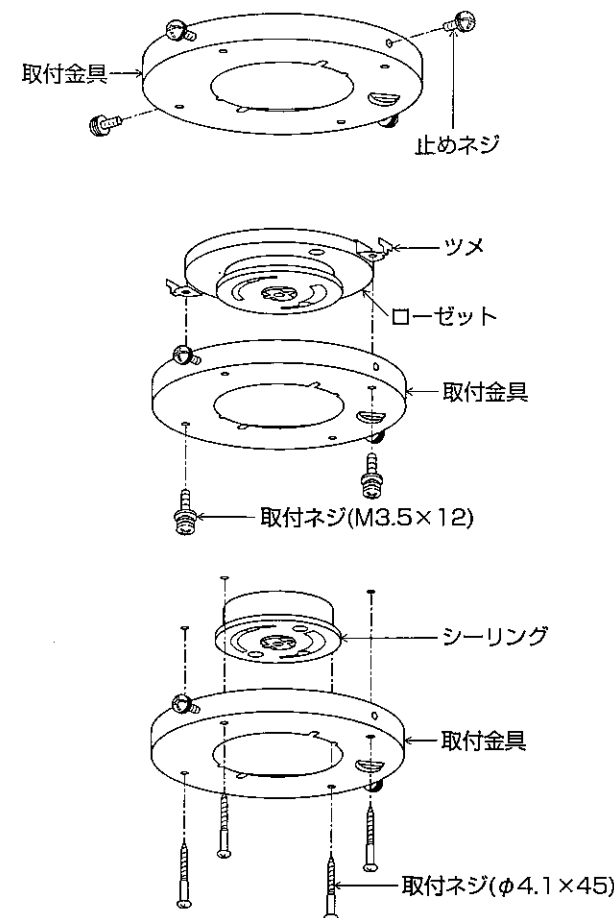
取付金具の止めネジをゆるめる。うち2ヶ所の止めネジを取外す。

### <ローゼットの場合>

取付金具をローゼットに合わせ、取付ネジで取付ける。

### <シーリングの場合>

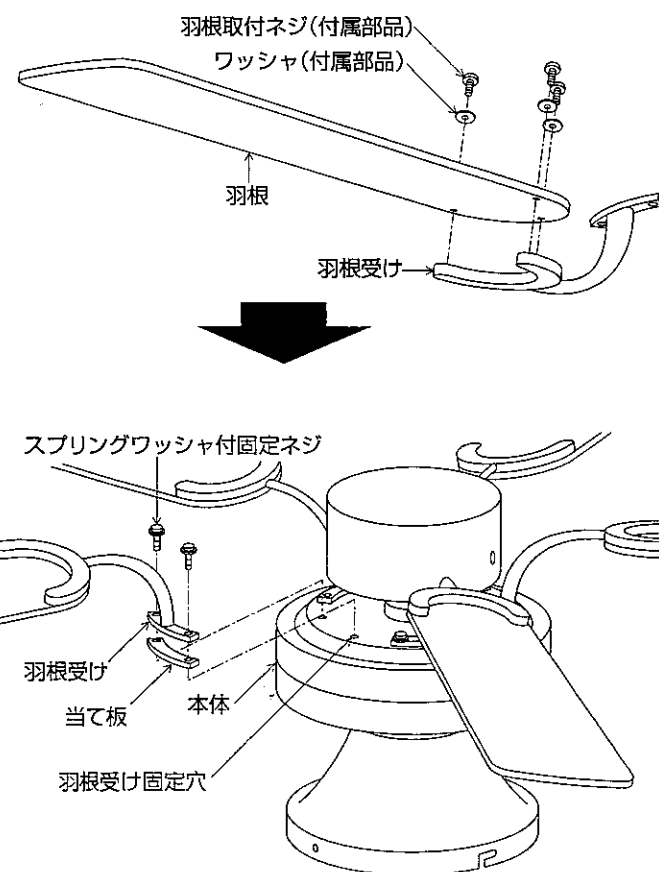
取付金具をシーリングに合わせ、取付ネジで取付ける。



## 2 羽根を取付ける (床面で作業の方が楽にできます。)

羽根と羽根受けを付属の羽根取付ネジ3本とワッシャ3枚で確実に取付ける。

※羽根は表裏どちらでも取付けできます。

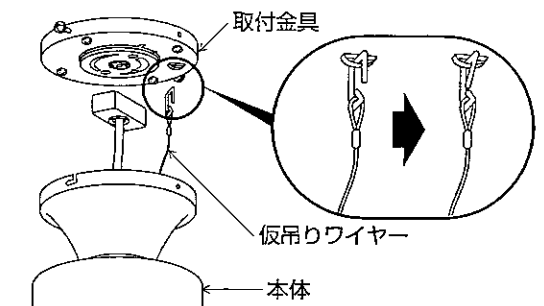


本体に仮止めしてあるスプリングワッシャ付固定ネジをはずし、当て板を本体の羽根受け固定穴に合わせ貼り付け、羽根受けをスプリングワッシャ付固定ネジ2本で1枚ずつ確実に固定する。

※取付けは確実にこなしてください。締め付けが不十分な場合は、ガタツキまたは、事故の原因になります。

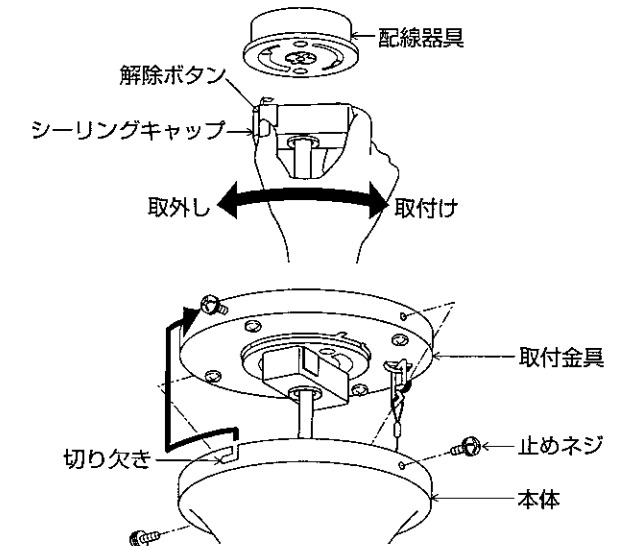
## 3 仮吊りワイヤーを取付ける

仮吊りワイヤーを取付金具に引っ掛けて閉じる。



## 4 シーリングキャップを接続する

※取外すときは解除ボタンを押した状態で左に回す。



## 5 本体を取付ける

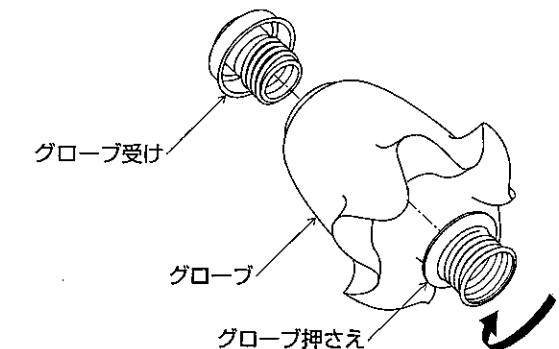
本体の切り欠きを止めネジに合わせてはめ込み、右に止まるまで回してから止めネジを締め付ける。

■取付手順1で取外した止めネジで本体を確実に固定する。

※取付けは確実にこなってください。締め付けが不十分な場合は落下・ガタツキの原因になります。

## 6 グローブを取付ける

グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押さえで締め付ける。



## 7 ランプを取付ける

## 8 壁スイッチをONにし、リモコン操作する

壁スイッチをONにすると照明は全灯し、OFFにすると消灯します。

※壁スイッチでファンの操作はできません。

## 9 取付け・点灯および羽根の回転の確認を行なう

- ①取付金具の取付けにガタツキがないか?→十分締め付けているか
- ②羽根のブレがないか?→十分締め付けているか

## ■リモコンで操作する

※壁スイッチがある場合、あらかじめ壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

- リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。  
また、リモコン送信機を操作すると、本体より確認音がします。

### 1 照明の操作

#### ①照明入/切スイッチ

スイッチを押すと、「ピッ」と確認音がし、

**点灯** ↔ **消灯** と点灯状態が切り替わります。

一度、壁スイッチをOFFにすると初期状態に戻ります。  
初期状態は6灯に設定されています。

#### ②全灯/減灯スイッチ

スイッチを押すと、「ピッ」と確認音がし、

**6灯** ↔ **3灯** と点灯状態が切り替わります。

※「全灯/減灯」スイッチは「照明入/切」スイッチで照明が入の状態になっていなければ操作できません。

### 2 ファンの操作

#### ③ファン入/切スイッチ

スイッチを押すと、「ピッ」と確認音がし、ファンが回転します。もう一度スイッチを押すと、「ピッピッ」と2回確認音がし、ファンが止まります。

一度、壁スイッチをOFFにすると初期状態の停止になります。次に「ファン入/切」スイッチを押すと、正回転の強になります。

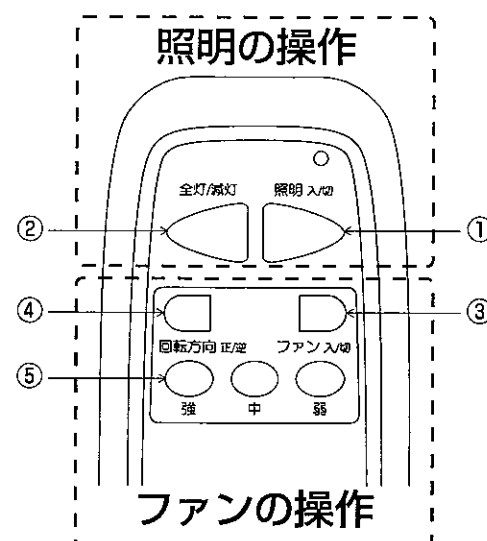
#### ④回転方向正/逆切替スイッチ

スイッチを押すと、「ピッ」と確認音がし、一度回転が止まってから、逆方向に回転します。

#### ⑤スピード切替スイッチ

スイッチを押すと、「ピッ」と確認音がし、回転スピードが切り替わります。

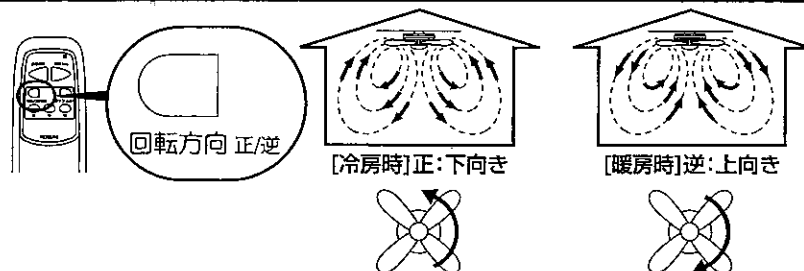
※「回転方向正/逆切替」スイッチ・「スピード切替」スイッチは「ファン入/切」スイッチでファンが入の状態になっていなければ操作できません。



※スイッチの切り替えは、一度スイッチを押してから2秒以上間隔をあけて行なってください。

## ■回転方向の切り替えについて

リモコン送信機の回転方向正/逆切替スイッチで上向きの風、下向きの風が選択できます。「正」にすると直接風が当たり、涼しさが増します(春夏秋)。また、「逆」にすると、部屋全体にゆっくりとした風を送り、部屋の空気をかかはんします(冬)。



## ■リモコン送信機について

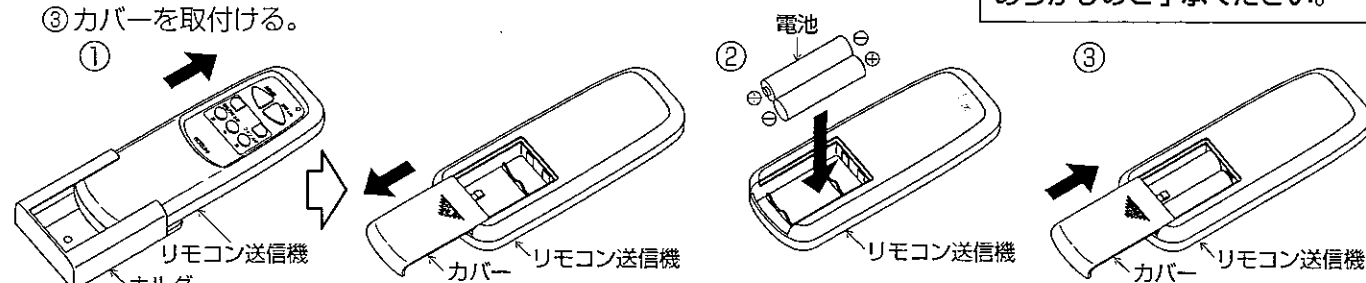
### 1 リモコン送信機をホルダーから取出す

①リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーをはずす。

②電池の極性を表示に合わせて入れる。

③カバーを取付ける。

お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



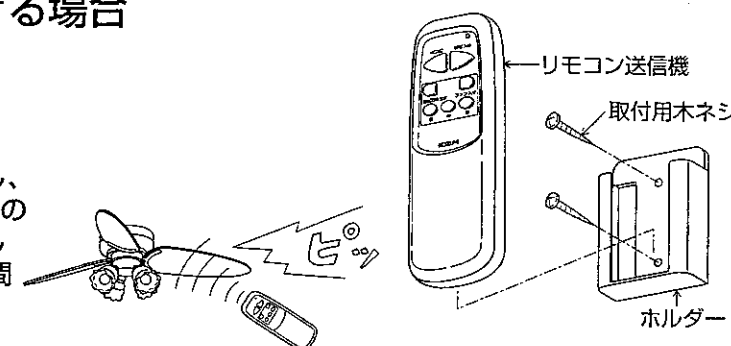
## 2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

必ず付属の取付用木ネジ2本で確実に固定する。

## 3 リモコン送信機を操作

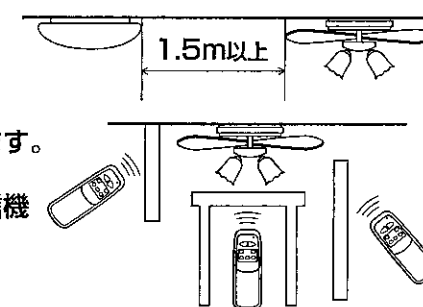
すると確認音が本体よりします。

※スイッチを操作すると、「ピッ」と1回確認音がし、ファン入/切スイッチの操作で「切」になった場合のみ「ピッピッ」と2回確認音がします。確認音がしなければ、スイッチ操作は無効です。2秒以上間隔をあけて行なってください。



## 4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
- リモコン送信機で消灯・回転停止した場合、器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。
- 壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高温なもの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。
- 器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- 蛍光灯照明器具が取付けられた場所では、その器具から1.5m以上離して取付けてください。
- 誤動作の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
- 乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃべり物がある場合、作動しない場合があります。
- しゃべり物をさけて再度スイッチを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



## ■修理を依頼される前に

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置
リモコン送信機を操作しても動作しない	リモコン送信機の電池が切れている	電池を交換する
	リモコン受信部に信号が届いていない('ピッ'と確認音がしない)	リモコン受信部が見える位置から操作する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	リモコン送信機を連続操作した	2秒以上間隔をあけて操作する
壁スイッチをONにしてもランプが点灯しない	ランプが切れている	ランプを交換する
「回転方向正/逆切替」スイッチを押しても変わらない(止まってしまう)	回転しているときにスイッチ操作をした場合、一度回転が止まってから逆方向に回転しはじめる	しばらく様子を見る
壁スイッチをONにしてもファンが回らない	リモコンの設定が初期状態になっている	「ファン入/切」スイッチを押してから回転方向・スピードを操作する

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電気店、別紙サービスセンターにご相談ください。